



奈良県感染症情報

令和2年 第4週(1月20日～1月26日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザ注意報発令中です!

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	17.18	(14.02)	↗	↑	↗	↗
2	感染性胃腸炎	7.82	(6.62)	↗	↗	→	↑
3	A群溶連菌咽頭炎	1.91	(1.24)	↗	→	↑	→
4	伝染性紅斑	0.76	(0.76)	→	↘	↗	↓
5	RSウイルス感染症	0.50	(0.38)	→	↓	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザの報告数が増加しています。報告数は県内の全域で増加しており、特に中和保健所管内西部地域では非常に多くなっています。

1月28日に新型コロナウイルスに感染した県内在住の方が確認されました。新型コロナウイルスの感染対策は、季節性インフルエンザと同様に流水・石けんによる手洗いの徹底などです。また、手などの皮膚の消毒には消毒用アルコールが有効です。咳やくしゃみが出る時は、他の人への感染拡大を防ぐため、①咳やくしゃみを出す際、ティッシュ・ハンカチ、上着の袖などで口・鼻を覆う、②マスクを着用する(口・鼻をしっかり覆う)など咳チケットを徹底しましょう。

規則正しい生活やバランスのとれた栄養摂取、人混み・繁華街への外出を控える、適度な湿度の保持など日頃からの基本的な感染予防策を心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは1月初めは増加したが、その後はやや減少し小流行が続いている。A型が主流だがB型も今後増えてくる気配がある。感染性胃腸炎が保育園児で増えてきた。嘔吐や発熱は1日で軽減し、下痢があったり無かったりと軽症が殆どである。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが増加。
A・B混在、A型がやや多いがB型が増加中。
嘔吐が主のノロ様感染性腸炎が多い。
他にA群溶血性連鎖球菌がみられる。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

B型インフルエンザが大流行している。A型インフルエンザの流行も続いている。有熱期間が1～2日と短いものや、微熱例もあり臨床診断困難例もみられる。

ノロウイルスによる胃腸炎の流行や、RSウイルス感染症も依然として続いている。また軽症ではあるがアデノウイルス感染症も散見されている。

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

